

令和2年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	中 村 憲 一 議員	1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	新型コロナウイルス感染症対策が変化をもたらした行政サービスの在り方について～コロナ禍を変化のチャンスとするために～	<p>2020年1月9日、WHOは中華人民共和国湖北省武漢市における肺炎の集団発生は新型コロナウイルスによるものとした。この感染症は瞬く間に世界を席卷し、我々の日常生活を一変させた。</p> <p>このパンデミックが世界に強い変化は不可逆的なものであり、「ポストコロナ」、「アフターコロナ」、「ウィズコロナ」の時代においては、もはやコロナ前の生活に戻るといふ幻想を捨て、新しい生活様式に基づいた社会経済活動の在り方を受容し、行動様式を根本的に改める必要がある。物理的なソーシャルディスタンスは、精神的な距離感をも変えていくと思われる。</p> <p>また、生活様式の質的な変化によってこれまでのあらゆる慣習が無効となり、コロナ後はただ昔に戻ればよいという自治体は脱落し、変化に対応して新たな行政サービスを提供できた自治体こそが生き残っていくと考える。</p> <p>以上、こうした激しい新陳代謝が起こる中、コロナ禍がもたらす変化はピンチではなく、新しいチャレンジであると同時に旧弊を改めるチャンスであるという観点から、以下質問する。</p> <p>(1) 避難所運営について。</p> <p>① 感染症対策はいかがか。</p> <p>② 収容人数を考慮すると、物理的に新しい生活様式ののっとりて設営することは可能なのか。</p> <p>③ プライベートスペースが確保できる自家用車を活用した避難所の設置を提案するがいかがか。</p> <p>(2) 富士保健所について。</p> <p>① 県との連携は円滑だったのか。</p> <p>② 感染情報の共有に課題はなかったか。</p> <p>③ 平成29年11月定例会の一般質問で、富士市の中核市移行から連携中枢都市検討の当市への影響を質した際、富士市が独自に保健所を設置、運営した場合の当市分の保健所行政の運営の問題を指摘していた。コロナ発生後、富士市と保健所行政について意見交換はあったのか。今後の保健所行政をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 市立病院について。</p> <p>① コロナに伴う受診抑制の傾向は見られるのか。</p> <p>② 経営状況はいかがか。今年度中の一般会計からの追加支援は必要なのか。</p> <p>③ 全国医学部長病院長会議の調査では、大学病院の2020年度末の各病院の損失は約5000億円に上ると推計され、経営危機が指摘されている。このことは当院へ影響をもたらすと考えるか。</p> <p>(4) 教育環境について。</p> <p>① 放課後児童クラブ、保育園について。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 緊急事態宣言中、3密は回避できたのか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 物理的に新しい生活様式に基づいた運営は可能なのか。</p>		市長 関係部長

発言 順序	10	議席 番号	11	氏名	中 村 憲 一 議員	2 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
				<p>② オンライン教育、授業について。</p> <p>ア 休業中の家庭学習、児童生徒とのコミュニケーションにICT機器はどの程度活用されたのか。またその成果はいかがか。</p> <p>イ ICT環境整備のスピード感に変化はあるのか。</p> <p>ウ コロナ後は元の教育への回帰であってはならないと考えるが、従来型教育とのバランスをどのように考えるか。</p> <p>③ 水泳授業について。</p> <p>ア 今夏の水泳授業の取扱いはどのようになるのか。</p> <p>イ 水泳授業の抜本的な見直しのチャンスと考えるがいかがか。</p> <p>(5) ひとり親家庭について。</p> <p>① 令和2年度富士宮市一般会計補正予算（第3号）における児童扶養手当受給者臨時特別給付金給付事業の実施について、家庭環境の実態調査はできていたのか。</p> <p>② オンライン環境に関するアンケート調査の結果、インターネット接続環境と経済環境には相関関係は見られたか。</p> <p>(6) 観光政策について。</p> <p>① 移動が大きく制限され、インバウンド需要が蒸発したと言われている中、従来型の観光政策からの転換はあるのか。</p> <p>② 新しい生活様式が求められる中、大規模動員を前提としたイベント至上主義からの脱却はあるのか。</p> <p>(7) 市政運営について。</p> <p>① 今後、第2波、第3波の襲来が予想され、リスク回避やレジリエンスを重視する戦略への転換を余儀なくされる。コロナ前には戻れない状況の中で、大変革期に適合した新しい行政の在り方を提示しなくてはならないと考えるが、市長はコロナ後の富士宮のニューノーマルをどのように構想するのか。</p>		